

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	臨床治療論(リハビリテーション)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	8 (1) 時間(単位)
対象学年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2F,3F
担当教員	改發 友貴 酒井 崇 永吉 啓吾	実務経験と その関連資格	作業療法士 認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)、失語症者向け意思疎通支援者指導者 理学療法士			
《授業科目における学習内容》						
様々な健康障害・健康段階で行われるリハビリテーション療法について学ぶ						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験100% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満 【配点】25点						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
Nursing Care Q & A 入院中のリハビリテーション(総合医学社)						
《授業外における学習方法》						
授業内容の復習						
《履修に当たっての留意点》						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳血管疾患のある対象のリハビリテーションを理解する			
		各コマにおける授業予定	1)筋力・関節可動域評価方法 2)拘縮予防とポジショニング 3)日常生活の中で行える筋力維持強化方法			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	嚥下障害、言語障害のある対象のリハビリテーションを理解する			
		各コマにおける授業予定	1)嚥下機能の評価と嚥下訓練 2)失語症患者とのコミュニケーション			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経筋疾患、運動器疾患のある対象へのリハビリテーションを理解する			
		各コマにおける授業予定	1)パーキンソン病のリハビリテーションと日常生活動作の留意点 2)人工骨頭置換術、人工股関節置換術後、人工膝関節置換術後のリハビリと、日常生活動作の留意点			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性呼吸不全のある対象の呼吸リハビリテーションを理解する			
		各コマにおける授業予定	1)呼吸リハビリテーション 2)スクイーミング・体位ドレナージ			
第5回		授業を通じての到達目標				
		各コマにおける授業予定				